

＊ ＊ はじめに ＊ ＊

■本書のねらい

本書は、筆者の実務上の経験や裁判例の動向などにに基づき、フランチャイズ契約の契約実務・訴訟実務を処理するうえで必要不可欠と考えられる知識・理論を89の設問にまとめ、主として、法曹実務家や企業実務家の方々を念頭に、その解説・検討を試みるものです。

また、フランチャイズ契約の研究者・学習者や、フランチャイズ契約の当事者（加盟希望者を含む）、フランチャイズ・ビジネスへの参入を検討されている企業の担当者などの立場から、フランチャイズ契約に関心・関係を持たれている方々にも、参考となり得る情報を提供するよう努めました。

■フランチャイズ・ビジネスの拡大と法的問題

わが国で最初にフランチャイズ・ビジネスが導入されたのは、昭和38年、ダスキンの「愛の店」、不二家の洋菓子店であったといわれています。その後、フランチャイズ・ビジネスは様々な業種・業態において拡大の一途をたどっています。

その一方で、フランチャイズ契約に関しては、小振法、独禁法による開示規制、不公正な取引方法の規制の強化がはかられ、契約締結過程における情報提供義務、継続的契約の解消の制限、フランチャイザーの使用者責任（名板貸責任）、いわゆるロス・チャージ、見切り販売の制限などを争点とする訴訟が提起され、最近では、地労委でフランチャイジーの労働者性が肯定されるなど、重要な法的問題が次から次に提起され続けています。

今後も、フランチャイズ・ビジネスの拡大が見込まれる中で、より多様で多数の法的問題が発生するのではないかと考えられます。



■フランチャイズ契約の難しさ

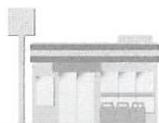
筆者は、三十数年にわたり、コンビニ・フランチャイズ契約を中心に、フランチャイズ契約の実務に携わってきましたが、幾度となくその難しさを痛感してきました。

前記の法的問題に的確に対処するためには、単に契約の知識を習得するだけではならず、フランチャイズ契約の基礎的概念〔契約の本質、定義、フランチャイザー・フランチャイジーの事業の区別、契約の法的性質（ライセンス契約性、非労務供給契約性）、法的特徴（事業の別個独立性、利害対立性、フランチャイジーの独立の事業者性）〕の定立や契約条項の体系的分析（条項をその趣旨・内容により体系的に整理・分類し、法適合性の要件を明確化すること）が必要と考えられますが、従来議論では、残念ながらこれらの点が十分ではなかったように感じられます。

■実務と理論の基礎固め

フランチャイズ契約に関しては、これまで、多数の書籍、論文が著されてきましたが、一通りの法的問題が出揃った感のある今日の時点で、実務を的確に処理し、取引の一層の適正化をはかるため、従前の議論を再検討し、実務と理論の基礎固めをする時期に来ているのではないかと考えられます。

自らの非力を顧みると、本書が基礎的概念の定立や契約条項の体系的分析につき、いかほどの成果を上げ得たか、忸怩たる思いもありますが、本書に反対の立場も含め、いささかなりとも議論の整理・活性化に資することができればと願っています。



本書の特徴と構成

((特 徴))

本書の内容上の特徴としては、次の五点を挙げたいと思います。

◆フランチャイズ契約の基礎的概念

…ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型の提示
フランチャイズ契約は典型契約ではないため、先行する実務上の知見に基づいて、基礎的概念（用語の定義や、法的性質・特徴など）を提示することが要請されます。

本書では、ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型に基づき、その基礎的概念を明確にするよう努めました。また、「組織型契約」の概念や、商学ないし商業実務で提示されている「組織化小売業」「フランチャイズ・チェーン事業」などの概念についても検討しました。

◆フランチャイズ契約に特有の条項の整理・分類と法適合性の要件

…契約条項の一覧表と簡明な法適合性の基準の提示

フランチャイズ契約の条項は、その趣旨・内容、強制力の有無などが複雑に入り組み、体系的な整理・分析が容易ではなく、信義則や優越的地位の濫用を中心に裁判で議論がなされ、その法適合性の根拠と限界について、常に微妙な判断が強いられています。

本書では、契約実務の観点から、契約条項を①フランチャイジーの営業活動以外の行為の制限・禁止、②営業活動の指定・義務づけ、③営業活動に対する推奨、助言・指導の三つのグループに整理し、その典型例を挙げ、一覧表として提示しました。ま

た、グループごとに、当事者の利益衡量と契約条項の性質（目的の表裏一体性、任意性）などを踏まえ、法適合性の要件・判断を検討し、簡便・明確で利用しやすい基準を提示し、その判断の主要な枠組みを提示しました。

◆フランチャイジーの労組法上の労働者性

…非労務供給契約性に基づく労働者性の検討

フランチャイジーの労働者性は、労組法上の重要な論点ですが、フランチャイズ契約においても、従来 of 混沌とした理論状況に補助線を加えた感があり、今後の展開が注視される論点となっています。

本書では、フランチャイジーの労働者性を肯定した岡山県労委命令を素材として、労務供給契約ではないフランチャイズ契約に総合判断説を適用することには無理があることと、フランチャイズ契約に総合判断説の「5 + 1」の要素を適用しても、フランチャイジーの労働者性は否定されることについて、商学ないし商業実務の議論にも立ち入って、詳細に検討しました。

◆コンビニ・フランチャイズ契約

…独特の契約上・会計上の仕組みの解説

コンビニ・フランチャイズ契約は、わが国で最も普及したフランチャイズ契約であり、情報・物流が高度にシステム化され、契約実務で参考となる特有の契約上・会計上の仕組みを有し、数多くの民事訴訟、公取委による排除措置命令などで組上に載せられている契約です。

本書では、契約上・商業上の観点からその概要と特徴を解説し、またロイヤルティの算定方法、商品・仕入先の推奨、仕入代金の代行支払、オープン・アカウント、収納代行などの仕組みの詳細や、これに関連する主要な法的問題について、できる限り、

取引の実情・慣行や、契約の背景・趣旨・目的などに遡って解説・検討しました。

◆情報提供義務、継続的契約解消の制限

…契約の解釈の立場から主要な判断の枠組みを提示

フランチャイズ契約の締結過程における情報提供義務や、フランチャイザーによる契約解消の制限（解除原因の限定、更新拒絶のやむを得ない事由）などが争点となっている訴訟は、信義則と債務不履行が複雑に絡み合い、訴訟実務上の対応が難しい分野となっています。

本書では、裁判所が重視していると思われる伝統的な私的自治の立場に立ち、情報提供義務の有無や、契約解消の制限の範囲について、抽象的な信義則ではなく、契約の解釈（当事者の意思）によって決定されるべきであるとの考えに基づき、契約解釈の主要な枠組みを提示し、訴訟実務上の対応を検討しました。

（（構成））

●Q & A

各Q & Aにおいて、まず、**Q**で設問のテーマを掲げたうえで、具体的な質問を設けています。**A**では、**A 1**で質問への解答の結論、**A 2**で設問の背景、**A 3**で**A 1**の結論の解説を述べていますが、適宜、**A 2**、**A 3**を省略・統合しています。なお、各Q & Aの独立性と読み易さを優先するため、記述を重複させた箇所があります。

●序章／序節

本書の冒頭に序章を設け、フランチャイズ契約の体系的理解と契約の適正化の方向を鳥瞰しました。また、第1章から第6章の各章

の冒頭に、序節を設け、各章の概要、企図、ポイントなどを補足しましたので、適宜、ご参照ください。

●定 義

本書の各箇所用語の定義をしていますが、当該用語は、末尾の索引に記載しましたので、ご参照ください。なお、読み易さを優先するため、あえて重複して用語の定義を置いた箇所があります。また、同じ意味を有する複数の用語については、できる限り統一しようとなりましたが、各種の事情により、複数の用語を使用した場合もあります（例：フランチャイジー、加盟者、加盟店主、加盟店経営者）。

●記 述

本書では、類書のように、裁判例に基づき、契約の開始から終了まで、一通りの実務を解説するというスタイルは採っておらず、契約実務（契約書の作成・運用の相談）の観点を中心に、実務に欠かせない重要な知識・論点を抽出し、これについて解説・検討するというスタイルを採っています。

回答が長文となったり、細かな分類・場合分けに基づき議論を展開した箇所では、視覚的な理解が容易となるよう、数多くの図表を掲載しましたので、ご参照ください。

●文献引用

時間的・能力的制約により、参考裁判例、文献の網羅的な整理・分析、引用は行っていません。引用文献に漏れ・誤りがあった場合はご容赦ください。

●誤認・誤解

実務書としては、独自の視点から従来の議論を整理したり、独自の意見を提示したりした部分が、相当多くなっています。誤認・誤解などがありましたら、ご容赦いただくとともに、ご教示いただくと幸甚に存じます。

●意見・表現

本書の記述中、意見にわたる部分はすべて筆者の私的な考えを述べたものであり、筆者が所属し、または関係するいかなる組織・団体の考えを述べたものではありません。また、契約内容や解釈論の傾向、趨勢などの表現に関しては、注意を払ったつもりですが、不適切な表現がありましたら、ご指摘いただくと幸甚に存じます。

●資料

本書で取り上げたフランチャイズ契約の内容については、公刊物に掲載された裁判書・命令書、各フランチャイザーが公表した小振法に基づく法定開示書面、契約書式集、法学・商学・商業実務に関する書籍・論文などを参考に記述しています。筆者が職務上・個人的に収集した非公開の資料・情報に基づく記述はありません。

引用文献・略称

[フランチャイズ契約関連書籍] (年代順)

川越 『法理論』	川越憲治『フランチャイズシステムの法理論』 (商事法務研究会／2001)
金井 『理論分析』	金井高志『フランチャイズ契約裁判例の理論分析』 (判例タイムズ社／2005)
小塚 『契約論』	小塚莊一郎『フランチャイズ契約論』(有斐閣／ 2006)
神田 『実務と書式』	神田孝『フランチャイズ契約の実務と書式』(三 協法規出版／2011)
西口編 『判例ハンドブック』	西口元、奈良輝久、若松亮編『フランチャイズ契 約(判例ハンドブック)』(青林書院／2012)
西口編 『法律相談』	西口元、木村久也、奈良輝久、清水建成編『フラ ンチャイズ契約の法律相談／第3版』(青林書院 ／2013)

[民商法関連書籍] (分野別)

四宮 『総則』	四宮和夫『民法総則／第四版補正版』(弘文堂／ 1996)
星野 『概論Ⅱ』	星野英一『民法概論Ⅱ(物権・担保物権)』(良書 普及会／1977)
星野 『概論Ⅲ』	星野英一『民法概論Ⅲ(債権総論)』(良書普及会 ／1978)
星野 『概論Ⅳ』	星野英一『民法概論Ⅳ(契約)』(良書普及会／ 1987)
平井 『契約総論』	平井宜雄『債権各論Ⅰ 上 契約総論』(弘文堂 ／2010)
中田 『継続的取引』	中田裕康『継続的取引の研究』(有斐閣／2010)
佐藤 『実務契約法』	佐藤孝幸『実務契約法講義／第4版』(民事法研 究会／2012)

加藤編 『判例 Check 契約締結上の過失』	加藤新太郎編『判例 Check 契約締結上の過失／改訂版』（新日本法規／2012）
加藤編 『判例 Check 継続的契約』	加藤新太郎編『判例 Check 継続的契約の解除・解約／改訂版』（新日本法規／2014）
鴻 『総則』	鴻常夫『商法総則／新訂第5版』（弘文堂／1999）
平出 『商行為法』	平出慶道『商法Ⅲ／商行為法』（青林書院／1988）
江頭 『商取引法』	江頭憲治郎『商取引法／第7版』（弘文堂／2013）
中山 『特許法』	中山信弘『工業所有権法（上）特許法／第2版増補版』（弘文堂／2004）
山本 『要説』	山本庸幸『要説・不正競争防止法／第4版』（発明協会／2006）
菅野 『労働法』	菅野和夫『労働法／第十一版』（弘文堂／2016）
中小企業庁編 『小振法解説』	中小企業庁小売商業課編『中小小売商業振興法の解説』（通商産業調査会／1992）
伊従編 『独禁法Q & A』	伊従寛、矢部丈太郎編『実務解説 独禁法Q & A』（青林書院／2007）
伊藤 『破産法・民事再生法』	伊藤眞『破産法・民事再生法／第3版』（有斐閣／2014）

[商学・商業実務関連書籍]（年代順）

協会編 『ハンドブック』	日本フランチャイズチェーン協会編『フランチャイズハンドブック／新版』（商業界／2012）
石川 『基礎』	石川和男『基礎からの商業と流通／第3版』（中央経済社／2013）
久保村編 『通論』	久保村隆祐編『商学通論／九訂版』（同文館出版／2016）

[雑誌等]

近大法学	近畿大学法学
金商	金融・商事判例
金法	旬刊金融法務事情
ジュリ	ジュリスト
新報	法学新報
曹時	法曹時報
判時	判例時報
判夕	判例タイムズ
法時	法律時報
民集	大審院・最高裁判所民事判例集

* 巻・号・頁、発行年は省略。

[法律]

独禁法	私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律
小振法	中小小売商業振興法
不競法	不正競争防止法
労契法	労働契約法
労組法	労働組合法
労基法	労働基準法

[その他]

公取委	公正取引委員会
地労委	地方労働委員会
セブン-イレブン・ ジャパン社	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
日本フランチャイズ チェーン協会	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会
岡山県労委命令	岡委平成22年（不）第2号不当労働行為救済申立事件についての、岡山県労働委員会の平成26年3月13日命令

CONTENTS

序章 フランチャイズ契約の 体系化と取引の適正化 1

第1章 フランチャイズ契約の概念 7

序節 基礎的概念の理念的考察 8

第1節 フランチャイズ契約の定義 12

- Q1** フランチャイズ契約の定義…………… 12
フランチャイズ契約とは、どのような契約のことをいうのですか。
- Q2** フランチャイズ・パッケージの内容…………… 18
フランチャイズ・パッケージの内容はどのようなものですか。
- Q3** フランチャイズ・パッケージの提供方法・利用許諾……… 23
フランチャイズ・パッケージは、どのような方法によって提供され、利用許諾されますか。
- Q4** フランチャイジーへの商品供給の仕組み…………… 27
フランチャイジーは、どのような方法によって、顧客に販売する商品やその原材料、部材、部品などの供給を受けますか。

- Q5** フランチャイズ・パッケージ利用の対価（加盟金・ロイヤルティ）…………… 31
 フランチャイジーは、フランチャイズ・パッケージの利用の許諾を受ける対価として、どのような種類の金銭をフランチャイザーに支払いますか。
- Q6** フランチャイジーによる対象事業の経営…………… 34
 フランチャイジーが、自らの名義と計算において対象事業を営営するとは、どのようなことを意味しますか。また、対象事業の損益計算は、どのような内容となっていますか。
- Q7** フランチャイザーによるフランチャイズ事業の経営…………… 40
 フランチャイズ契約において、フランチャイザーはいかなる事業を営営していますか。また、フランチャイズ事業の損益計算は、どのような仕組みとなっていますか。

第2節 フランチャイズの種類 47

- Q8** ビジネス・フォーマット型フランチャイズ…………… 47
 ビジネス・フォーマット型フランチャイズとはどのようなフランチャイズのことをいうのですか。
- Q9** 商標フランチャイズ、製造フランチャイズ…………… 52
 商標フランチャイズ、製造フランチャイズとは、どのようなフランチャイズのことをいうのですか。ビジネス・フォーマット型フランチャイズとはどこが違いますか。

- Q10** ライセンス契約性…………… 56
フランチャイズ契約は、いかなる法的性質を有する契約と理解すべきですか。
- Q11** 非労務供給契約性…………… 67
フランチャイズ契約は、フランチャイジーがフランチャイザーに労務を供給する契約ですか。
- Q12** フランチャイザーとフランチャイジーの事業の別個独立性、両者の利害対立性、フランチャイジーの独立の事業者性…………… 74
フランチャイズ契約には、どのような法的特徴が認められますか。
- Q13** 組織型契約…………… 83
フランチャイズ契約を組織型契約の概念で説明する学説は、どのような内容のものですか。
- Q14** 組織化小売業…………… 89
フランチャイズ契約を組織化小売業の概念で説明する学説は、どのような内容のものですか。
- Q15** フランチャイズ・チェーン事業…………… 93
「フランチャイズ・チェーン事業」とは、どのような事業のことをいうのですか。フランチャイズ・チェーン事業の内部における、フランチャイザーとフランチャイジーの「統合、分業の関係」とは、どのような関係のことをいうのですか。

第4節 類似・隣接の契約類型

100

Q16 ライセンス契約…………… 100

ライセンス契約とは、どのような契約のことをいうのですか。ライセンス契約は、フランチャイズ契約とどのような点で異なりますか。

Q17 特約店契約…………… 105

特約店契約とは、どのような契約のことをいうのですか。特約店契約は、フランチャイズ契約と、どのような点で異なりますか。

Q18 代理商契約…………… 110

代理商契約とは、どのような契約のことをいうのですか。代理商契約は、フランチャイズ契約と、どのような点で異なりますか。

Q19 ボランタリー・チェーン契約…………… 115

ボランタリー・チェーン契約とは、どのような契約のことをいうのですか。ボランタリー・チェーン契約は、フランチャイズ契約と、どのような点で異なりますか。

Q20 エリア・フランチャイズ契約…………… 121

エリア・フランチャイズ契約とは、どのような契約のことをいうのですか。エリア・フランチャイズ契約は、フランチャイズ契約と、どのような点で異なりますか。

第5節 フランチャイズ契約に適用される法律

126

Q21 フランチャイズ契約に適用される法律…………… 126

フランチャイズ契約について規定した法律はありますか。

Q22	小振法 ……………	129
	フランチャイズ契約は、小振法によって、どのような規制を受けていますか。	
Q23	独禁法（1）不公正な取引方法 ……………	134
	フランチャイズ契約に適用される独禁法の規定には、どのようなものがありますか。	
Q24	独禁法（2）フランチャイズ・ガイドライン ……………	138
	フランチャイズ契約に関する独禁法の運用について、フランチャイズ・ガイドラインは、どのような内容を定めていますか。	

第2章	フランチャイズ契約に特有の条項 の整理・分類と法適合性の要件	145
------------	---	-----

序 節	契約条項の体系的整理・分類	146
-----	---------------	-----

第1節	フランチャイズ契約に特有の条項の整理・ 分類と法適合性の要件	151
-----	-----------------------------------	-----

Q25	フランチャイズ契約に特有の条項 ……………	151
	フランチャイズ契約に特有の条項（フランチャイズ・パッケージの内容に関連する条項であって、実務上、その法適合性が問われることのできる条項）としては、どのような条項がありますか。	

- Q26** フランチャイジーの営業活動以外の行為を制限・禁止する条項…………… 154
フランチャイズ契約中の条項によって、フランチャイジーの営業活動以外の行為は、どのような制限・禁止を受けますか。
- Q27** フランチャイジーの営業活動以外の行為を制限・禁止する条項の法適合性の要件…………… 156
フランチャイジーの営業活動以外の行為を制限・禁止する条項は、いかなる範囲で法適合性を有しますか。
- Q28** フランチャイジーの営業活動を指定・義務づける条項… 164
フランチャイズ契約中の条項によって、フランチャイジーの営業活動は、どのような指定・義務づけを受けますか。
- Q29** フランチャイジーの営業活動を指定・義務づける条項の性質…………… 167
フランチャイジーの営業活動を指定・義務づける条項は、どのような性質を有していますか。
- Q30** フランチャイジーの営業活動を指定・義務づける条項の法適合性の要件…………… 173
フランチャイジーの営業活動を指定・義務づける条項は、いかなる範囲で法適合性を有しますか。
- Q31** フランチャイジーの営業活動に対する推奨、助言・指導を規定する条項…………… 187
フランチャイズ契約中の条項によって、フランチャイジーの営業活動は、どのような推奨、助言・指導を受けますか。

Q32	フランチャイジーの営業活動に対する推奨、助言・指導を規定する条項の性質	189
------------	-------------------------------------	-----

フランチャイジーの営業活動に対する推奨、助言・指導を規定する条項は、どのような性質を有していますか。

Q33	フランチャイジーの営業活動に対する推奨、助言・指導を規定する条項の法適合性の要件	191
------------	--	-----

フランチャイジーが営業活動に対する推奨、助言・指導に従わない場合、フランチャイザーは、いかなる限度で、チェーン・イメージの統一性を保つことを理由として、推奨、助言・指導に従うよう要請できますか。

第3章 フランチャイズ契約の 条項の法適合性の判断

203

序 節	契約条項の法適合性	204
-----	-----------	-----

第1節	フランチャイズ契約に特有の条項の 法適合性の判断	208
-----	-----------------------------	-----

Q34	契約期間中の競業禁止義務	208
------------	--------------	-----

フランチャイズ契約の期間中、フランチャイジーに対し競業行為を禁止する旨を規定した条項は、いかなる範囲において法適合性を有しますか。

- Q35 契約終了後の競業禁止義務**…………… 217
フランチャイズ契約の終了後、フランチャイジーに対し競業行為を禁止する旨を規定した条項は、いかなる範囲において法適合性を有しますか。
- Q36 違約金**…………… 228
フランチャイジーがノウハウの守秘義務、競業禁止義務に違反した場合、フランチャイザーは違約金の支払をフランチャイジーに請求することができる旨を規定した条項は、いかなる範囲で法適合性を有しますか。
- Q37 契約上の地位の無断譲渡の禁止**…………… 233
フランチャイジーは、フランチャイザーの承諾なく、フランチャイズ契約に基づく契約上の地位（フランチャイジーの地位）を第三者に譲渡できない旨を規定した条項は、いかなる範囲で法適合性を有しますか。
- Q38 取引先の指定・制限**…………… 239
フランチャイジーが商品を仕入れる取引先（仕入先）をフランチャイジー自身に指定し、あるいはフランチャイザーの指定する会社に制限する旨の条項は、いかなる範囲において法適合性を有しますか。
- Q39 仕入数量の強要**…………… 245
フランチャイザーは、フランチャイジーの仕入商品の発注（発注する商品の品目・数量）を指導する旨を規定した条項がある場合に、発注指導に従わないフランチャイジーに対し、いかなる限度で、発注指導に従うよう要請できますか。

Q40 販売価格の制限 254

フランチャイザーは、フランチャイジーが顧客に販売する商品の価格を推奨する旨を規定した条項がある場合に、推奨価格に従わないフランチャイジーに対し、いかなる限度で、推奨価格に従うよう要請できますか。

Q41 契約内容の変更（新規事業の導入） 261

フランチャイズ契約において、フランチャイザーが「当初のフランチャイズ契約に規定されていない新規事業の導入によって、加盟者が得られる利益の範囲を超える費用を負担することとなるにもかかわらず、本部が新規事業を導入しなければ不利益な取扱いをすること等を示唆し、加盟者に対して新規事業の導入を余儀なくさせ」た場合、当該行為は法適合性を有しますか。

Q42 取扱商品、販売方法の指定 272

フランチャイザーは、フランチャイジーが顧客に販売する商品（取扱商品）、販売方法を指定することができる旨を規定した条項は、いかなる範囲において法適合性を有しますか。

Q43 テリトリー権 278

フランチャイジーには独占的なテリトリー権がなく、フランチャイザーはフランチャイジーが経営する店舗の近隣に自由にフランチャイズ店、直営店を出店することができる旨を規定した条項が設けられている場合、フランチャイザーの近隣出店が制限を受けることはありますか。

第2節 フランチャイズ契約の終了を規定する条項の法適合性の判断 289

Q44 契約期間 289

フランチャイズ契約において、契約期間はどのような要素を勘案して設定されますか。不相当な期間が設定された場合、どのような不都合が生じますか。

Q45 契約の解除原因…………… 295

フランチャイジーの契約違反を解除事由とする条項が設けられている場合において、フランチャイザーが当該条項に基づきフランチャイジーの契約違反を理由に契約を解除したとき、当該解除権行使はいかなる範囲で効力が認められますか。

Q46 フランチャイザーの中途解約…………… 306

フランチャイザーは、契約期間中であっても、自己の都合で、一定の予告期間を置き、一定額の解約金を支払うことにより、フランチャイズ契約を中途解約することができる旨の条項が設けられている場合において、フランチャイザーは当該条項に基づき契約を中途解約することができますか。

Q47 フランチャイジーの中途解約…………… 316

フランチャイジーは、契約期間中であっても、自己の都合で、一定の予告期間を置き、一定額の解約金を支払うことにより、フランチャイズ契約を中途解約することができる旨の条項が設けられている場合において、フランチャイジーは当該条項に基づき契約を中途解約することができますか。

Q48 更新拒絶のやむを得ない事由…………… 325

フランチャイザーは、契約期間が満了した場合、自由な判断で、契約を更新するか否かを決定することができる旨を規定した条項が設けられている場合、フランチャイジーから契約の更新を求められたときは、フランチャイザーは、これを自由な判断で拒絶することができますか、それとも、更新の拒絶にはやむを得ない事由の存在を必要としますか。

序 節 情報提供義務

336

第1節 売上予測に関する情報の提供義務

340

Q49 フランチャイズ・ガイドライン…………… 340

フランチャイザーが売上予測を提示する場合、フランチャイズ・ガイドラインではどのようなことが要求されていますか。フランチャイザーが売上予測を提示しないでフランチャイズ契約を締結することは、フランチャイズ・ガイドラインに違反しますか。

Q50 売上予測を提示した場合の情報提供義務（1）裁判例… 347

フランチャイザーがフランチャイジーに売上予測を提示した場合、裁判例では、当該売上予測につき、いかなる水準の的確性がないと、損害賠償義務を負うことになりますか。

Q51 売上予測を提示した場合の情報提供義務（2）法的根拠 357

フランチャイザーは、フランチャイジーに提示した売上予測につき、いかなる法的根拠に基づき、的確性を備えた情報の提供義務を負うのですか。

Q52 売上予測を提示すべき積極的な義務…………… 368

フランチャイザーは、売上予測を積極的に提示する義務を負いますか。売上予測を提示しない方法によりフランチャイズ契約を締結した場合、信義則に基づく情報提供義務違反を理由に損害賠償義務を負うことがありますか。

Q53 売上予測の実務 378

小売業における売上予測の実務では、どのような予測手法が採られていますか。各予測手法の中では、どの手法が合理的と考えられますか。

Q54 売上予測の限界と提示方法 387

売上予測にはどのような限界がありますか。また、売上予測の限界は、売上予測の提示方法にいかなる影響を与えますか。

第2節	契約（フランチャイズ・パッケージ）の内容に関する情報の提供義務	413
-----	--	-----

Q55 契約（フランチャイズ・パッケージ）の内容に関する情報の提供義務 413

フランチャイザーは、フランチャイズ契約（フランチャイズ・パッケージ）の内容に関し、情報提供義務を負いますか。

第5章 コンビニ・フランチャイズ契約	419
---------------------------	-----

序 節	コンビニ・フランチャイズ契約	420
-----	-----------------------	-----

第1節 コンビニ・フランチャイズ契約の概要と特徴 423

Q56 コンビニ・フランチャイズ契約の概要…………… 423

コンビニ・フランチャイズ契約は、概要、どのような内容の契約となっていますか。

Q57 コンビニ・フランチャイズ契約の特徴…………… 438

コンビニ・フランチャイズ契約は、他のフランチャイズ契約と比較し、どのような特徴を有していますか。

第2節 コンビニ・フランチャイズ契約に特有の
仕組みと、これに関連する法的問題 446

Q58 ロイヤルティ（売上原価）の計算方法…………… 446

コンビニ・フランチャイズ契約では、ロイヤルティはどのように計算されていますか。また、ロイヤルティの計算において、売上原価は廃棄ロス、棚卸ロスを含まない形で計算されるといわれていますが、それはどのようなことを意味するのですか。

Q59 ロス・チャージ訴訟…………… 454

ロス・チャージ訴訟とは、どのような訴訟のことをいうのですか。どのような内容の判決が出されていますか。

Q60 廃棄ロス、棚卸ロスにロイヤルティをかけているか…………… 462

コンビニ・フランチャイズ契約では、フランチャイザーは、廃棄ロスにロイヤルティをかけていることになりますか。

- Q61 廃棄ロスを売上原価に含めず、販管費（営業費）とする
会計処理と増量発注の強要のおそれ**…………… 468
- コンビニ・フランチャイズ契約において、フランチャイザーのフランチャイジーに対する商品の仕入（発注）の助言・指導に関し、増量発注を強要するおそれが強いといわれる理由はどのようなものですか。また、フランチャイザーが発注（発注する商品の品目・数量）の指定を行うとしたら、その法適合性はどのように判断されると考えられますか。
- Q62 見切り販売の制限**…………… 475
- コンビニ・フランチャイズ契約において、フランチャイザーが推奨した商品の販売価格を強要し、フランチャイジーによる見切り販売を制限する行為について、その法適合性はいかに判断されますか。
- Q63 商品・仕入先の推奨**…………… 485
- コンビニ・フランチャイズ契約では、商品はどのような仕組みにより、フランチャイジーに供給されていますか。
- Q64 商品の仕入代金の代行支払の仕組み**…………… 491
- フランチャイザーは、どのような仕組みによって、フランチャイジーの仕入先に対する商品の仕入代金の支払債務を代行支払し、その立替金債権の支払を受けているのですか。
- Q65 商品の仕入代金の代行支払と報告訴訟、請求書訴訟**…………… 495
- フランチャイジーは、フランチャイザーに対し、フランチャイザーが仕入先に代行支払した仕入代金の明細の報告を求めることができますか。また、代行支払した際に仕入先からフランチャイジーに宛て発行された請求書、領収書の引渡しを求められますか。

Q66 リベートの帰属…………… 504

フランチャイザーが仕入先との間で、チェーン全店の仕入実績に応じ、仕入先からリベートの支払を受ける旨の約束を交わし、仕入先からリベートを受領した場合、そのリベートはフランチャイザー、フランチャイジーいずれの収入となりますか

Q67 オープン・アカウントの仕組み…………… 511

オープン・アカウントは、どのような仕組みの勘定ですか。

Q68 オープン・アカウントと債権差押えとの関係…………… 521

フランチャイジーの債権者は、フランチャイジーのフランチャイザーに対する次の債権を差し押えることができますか。

- ①事業者収入（フランチャイジーのフランチャイザーに対する事業者収入の支払請求権）
- ②奨励金（フランチャイジーのフランチャイザーに対する奨励金の支払請求権）
- ③貸付金（フランチャイジーのフランチャイザーに対する毎月の差引計算後の貸方残高の貸付金の支払請求権）
- ④清算金（フランチャイジーのフランチャイザーに対するフランチャイズ契約の終了による清算金の支払請求権）

Q69 24時間営業（営業時間の制限）…………… 525

コンビニ・フランチャイズ契約において、24時間営業を義務づける条項がある場合、フランチャイジーは、優越的地位の濫用を理由に、24時間営業を拒むことができますか。

Q70 フランチャイズ・パッケージに関する契約責任…………… 531

コンビニ・フランチャイズ契約において、フランチャイジーに提供されたフランチャイズ・パッケージの一部に関し、次のような事態が発生した場合、フランチャイザーはフランチャイジーに対し、どのような責任を負いますか。

- ①推奨した仕入先が納品した商品の品質不良
- ②推奨した仕入先による商品の納品時間（店着時間）の遅れ
- ③提供した商品の受発注用の情報システムの不具合

Q71 収納代行サービスの仕組みと為替取引への該当性…………… 536

コンビニエンスストアで取り扱われている電気料金、電話料金などの公共料金の収納代行サービスは、どのような仕組みで行われていますか。収納代行サービスは為替取引に該当しますか。

Q72 収納代行サービスの法適合性…………… 544

フランチャイザーが収納代行サービスの取扱いをフランチャイジーに義務づけた（強制した）場合、その法適合性は肯定されますか。

第6章 フランチャイジーの労組法、 労基法上の労働者性の問題

549

序 節 フランチャイジーの労働者性

550

第1節 労組法

553

Q73 総合判断説…………… 553

労組法第3条の労働者性の判断に用いられる総合判断説とは、どのような学説ですか。

Q74 岡山県労委命令の概要…………… 558

セブン-イレブン・ジャパン社の加盟店主を労組法上の労働者と認めた岡山県労委命令の内容はどのようなものですか。

- Q75** フランチャイジーの労務供給者該当性…………… 569
フランチャイジーは、請負、委任などの労務供給契約の従業者と同様、労組法の労働者性の前提となる労務供給者に該当しますか。
- Q76** 事業組織への組入れ…………… 588
フランチャイジーは、フランチャイザーの事業組織（フランチャイズ事業の組織）に組み入れられていますか。
- Q77** 契約内容の一方的決定…………… 596
フランチャイズ契約は、その内容がフランチャイザーにより一方的・定型的に決定されていますが、なぜフランチャイザーが一方的・定型的に決定しているのですか。
- Q78** 報酬の労務対償性…………… 605
フランチャイジーは、フランチャイザーの経営するフランチャイズ・チェーン事業に労務を供給し、その対価（報酬）を得ていますか。それとも、対象事業の経営による事業者収入を得ていますか。
- Q79** 諾否の自由…………… 614
フランチャイジーは、フランチャイザーからの業務の発注につき、諾否の自由を有しますか。
- Q80** 指揮監督関係、時間的・場所的拘束等の有無および程度… 620
フランチャイジーは、フランチャイザーから、対象事業の経営に関し、指揮監督や、時間的・場所的拘束を受けていますか。
- Q81** 独立の事業者としての実態を備えていると認めるべき
特段の事情…………… 627
独立の事業者としての実態を備えていることは、総合判断説の適用において、いかなる意味を有しますか。フランチャイジーは、独立の事業者としての実態を備えていますか。

- Q82 労基法上の労働者該当性**…………… 641
フランチャイジーは、労基法上の労働者に該当しますか。

第7章 その他（フラチャイザー の名板貸責任など）

- Q83 フランチャイザーの名板貸責任**…………… 646
フランチャイザーは、フランチャイジーが顧客に販売した商品に品質不良があった場合、フランチャイジーの契約責任につき、顧客に対し、名板貸責任を負いますか。
- Q84 フランチャイザーの使用者責任**…………… 654
フランチャイザーは、フランチャイジーが経営する店舗のスタッフが、その接客態度をめぐって来店した顧客と口論になり、もみ合いの末、傷害を負わせた場合、来店客に対し責任を負いますか。
- Q85 フランチャイザーの破産・民事再生**…………… 669
フランチャイザーが破産手続・民事再生手続の開始決定を受けた場合、フランチャイズ契約はどうなりますか。
- Q86 フランチャイジーの破産・民事再生**…………… 679
フランチャイジーが破産・民事再生の開始決定を受けた場合、フランチャイズ契約はどうなりますか。

Q87 フランチャイザーについての企業買収…………… 688

フランチャイザーが、同種のフランチャイズ事業を営む別の（同業他社の）フランチャイザーに企業買収された場合、フランチャイジーの立場はどうなりますか

Q88 個人情報の取得、利用・管理…………… 694

フランチャイズ契約に基づく店舗営業に関連して顧客の個人情報が取得される場合としては、どのような場合がありますか。また、個人情報の取得に関するフランチャイザー、フランチャイジー、仕入先、カード会社などの事業者のうち、個人情報保護法の適用や、財産権としての顧客情報の帰属との関係において、個人情報を取得し、利用・管理する権利義務を有するのは、いずれの事業者ですか。

Q89 取引情報に関する権利の帰属…………… 702

フランチャイズ契約に基づく店舗営業に関連して取得される取引情報（仕入情報・販売情報）を取得し、利用する権利を有するのは、フランチャイザー、フランチャイジーのどちらですか。

※ 序 章 ※

フランチャイズ契約の
体系化と取引の適正化

冒頭にあたり、フランチャイズ契約の体系化と取引の適正化について、本書と反対説の相違点を鳥瞰したいと思います。

1 フランチャイズ契約の体系化

(1) 本書の立場

本書は、次のとおり、ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型に基づく基礎的概念の定立と、契約条項の整理・分類を中心に、フランチャイズ契約の体系化をはかっています。

◆ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型に基づく基礎的概念の定立

- ・フランチャイズ契約の本質を、ビジネス・フォーマット型フランチャイズと理解 (Q8)
- ・フランチャイズ契約を、フランチャイザーがフランチャイジーにビジネス・フォーマットとしてのフランチャイズ・パッケージを有償で提供・利用許諾する契約と定義 (Q1)
- ・フランチャイザーとフランチャイジーの営む事業を、フランチャイズ事業と対象事業に区別 (Q6、Q7)
- ・フランチャイズ契約の法的性質を、ライセンス契約性、非労務供給契約性と理解 (Q10、Q11)
- ・フランチャイズ契約の法的特徴を、フランチャイザーとフランチャイジーの事業の別個独立性、利害対立性、フランチャイジーの独立の事業者性と理解 (Q12)

◆契約条項の整理・分類

- ・フランチャイズ契約に特有の条項を、制約の対象となる行為と制約の態様に従って、①営業活動以外の行為の制限・禁止、②営業活動の指定・義務づけ、③営業活動に対する推奨、助言・指導の

三つのグループに整理 (Q25)

- 各グループに属する条項を、フランチャイザーのための目的 (権益) とフランチャイジーのための目的 (権益) に従って整理 (典型例を一覧表にて提示) (Q26、Q28、Q31)
- 営業活動の指定・義務付けの条項は、フランチャイザーの権益確保とフランチャイジーの事業能力向上の表裏一体性、有益性の原則の性質を有することを指摘 (Q29)
- 営業活動に対する推奨、助言・指導の条項は、任意性の原則の性質を有することを指摘 (Q32)

(2) ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型 (法的性質・特徴) に対する反対説

ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型に基づく法的性質 (ライセンス契約性、非労務供給契約性)、法的特徴 (事業の別個独立性、フランチャイジーの独立の事業者性) に対しては、次のとおり、反対説が存在しています。

- ライセンス契約性に対する「流通契約説」、「独自契約説 (混合契約説を含む)」 (Q10)
- 非労務供給契約性、フランチャイジーの独立の事業者性を否定する「フランチャイズ・チェーン事業」における「総括、管理監督の関係説」(フランチャイズ契約の労務供給契約性、フランチャイジーの労務供給者性肯定説) (Q74)
- 事業の別個独立性を否定する (曖昧にする) 商学ないし商業実務上の「フランチャイズ・チェーン事業」の概念における「統合、分業の関係説」「共同事業関係説」 (Q15)
- フランチャイジーの独立の事業者性を否定する (曖昧にする) 「組織型契約説」、商学ないし商業実務上の「組織化小売業」の概念 (Q13、Q14)

2 取引の適正化

(1) 本書の立場

本書は、フランチャイズ契約を事業者間契約と理解する伝統的立場に立ち、**1**で述べたフランチャイズ契約の法的性質・特徴、特にライセンス契約性、フランチャイジーの独立の事業者性を前提に、次のとおり、**1**で述べた三つのグループに属する条項ごとに、その性質に従い、法適合性（*）の要件を定め、取引の適正化をはかっています。

◆営業活動以外の行為の制限・禁止

フランチャイジーの法益との利益衡量を考慮し、法適合性の要件を「目的の正当性+制限・禁止の必要性+相当性」と整理（**Q27**）

◆営業活動の指定・義務づけ

フランチャイジーの法益との利益衡量に加え、フランチャイザーの権益確保とフランチャイジーの事業能力の向上の表裏一体性、有益性の原則の性質を考慮し、法適合性の要件を「目的の正当性+指定・義務づけの必要性+相当性+有益性」と整理（**Q30**）

◆営業活動に対する推奨、助言・指導

任意性の原則の性質を考慮し、法適合性の要件を「フランチャイジーの任意の決定・判断への働きかけの程度・範囲を逸脱して、不当にその意思・行動を抑圧しないこと」と整理（**Q33**）

*法適合性

当該条項の内容・運用が民法上の法律行為の有効要件や、権利の行使に関する制約を規定した条項（公序良俗、信義則、権利濫用）に抵触しないこと、債務不履行・不法行為を構成しないこと、または独禁法が禁止する不公正な取引方法に抵触しないこと

(2) 反対説（フランチャイズ契約の労務供給契約性、フランチャイジーの労務供給者性の肯定説）

(1)に対しては、ビジネス・フォーマット型フランチャイズとしての理念型に基づく法的性質（特に非労務供給契約性）、法的特徴（特にフランチャイジーの独立の事業者性）を否定し、フランチャイズ契約の労務供給契約性、フランチャイジーの労務供給者性を肯定する反対説が存在しています（**Q74**）（コンビニ・フランチャイズ契約のフランチャイジーに労組法上の労働者性を肯定した岡山県労委命令）。

反対説では、フランチャイジーの労組法上の労働者性が肯定されますが、これに対する論評については、**Q75～Q81**をご参照ください。

付言するに、反対説の主要な論拠は、フランチャイジーが独立の事業者であり、コンビニエンスストア事業のすべての損益が帰属するとの建前にもかかわらず、実際には、フランチャイザーによって、数多くの指定・義務づけや推奨、助言・指導の強要がなされ、これによって、事実上、フランチャイザーは、自らはリスクを負うことなく、フランチャイジーを自らが雇用する従業員と同様に指揮命令しているとの、いわば「いいとこ取り」の実態がある場合に、その適正化をはかり、救済手段を拡大するため、当該契約関係を労務供給契約とみなし、フランチャイジーに団体交渉権を認めるとの趣旨ではないかと思われます。

しかし、契約の実態としては、フランチャイジーが加盟金・ロイヤルティなどの対価を支払い、コンビニエンスストア事業の営業利益から事業者収入を取得し、フランチャイザーから報酬を受けておらず、コンビニエンスストア事業のすべての損益がフランチャイジーに帰属するとの事実を否定しようがありませんので、当該契約関係を労務供給契約とみなすことには無理があると考えられます。

また、フランチャイジーは、労務供給者のように自己の労働力を売る立場ではなく、フランチャイザーからフランチャイズ・パッケージを買う立場であり、フランチャイズ・パッケージの内容は、専門業者であるフランチャイザーが統一的に定めざるを得ませんので、フランチャイズ・パッケージ（フランチャイズ契約）の内容を団体交渉によって決定することには困難が予想されます。

したがって、(1)で述べたとおり、フランチャイジーの独立の事業者性を尊重する立場に基づき、フランチャイジーの営業活動に対する制約について、その法適合性の要件を厳格に解釈し、法適合性を欠く行為に対しては、民法上の損害賠償義務、独禁法の不公正な取引方法による規制を加えることによって、取引の適正化をはかるのが相当ではないかと考えられます。

フランチャイジーの非労務供給者性	569
フランチャイズ	14
フランチャイズ・ガイドライン	17
フランチャイズ・システム	138
フランチャイズ・チェーン	93
フランチャイズ・チェーン事業	93
フランチャイズ・パッケージ	12
フランチャイズ契約	12
フランチャイズ契約に特有の条項	152
フランチャイズ事業	40
併存的債務引受	493
別個独立説	79
報告訴訟	498
報酬の労務対償性	605
法定解除権	296
法適合性	4、146
ボランティア・チェーン	115

●●ま行●●

見切り販売	476
名義	35
免責的債務引受	493

●●や行●●

約定解除権	296
優越的地位の濫用	136
予測が実績とかい離した場合の 免責条項	394

●●ら行●●

ライセンス契約	56、100
ライセンス契約説	58
利益引出金	611
利害対立性	74
履行引受	493
利得の機会を提供する義務	286
リベート	505
流通契約説	57
ロイヤルティ	32
ロイヤルティの計算方法	447
労働組合	554
労働者	554、642
労務供給者	554
ロジスティクス	440
ロス・チャージ訴訟	456

●● 著者略歴 ●●

遠藤 隆 (えんどう たかし)

昭和52年 3月 京都大学法学部卒業

昭和55年 3月 早稲田大学法学研究科修士

昭和58年 4月 弁護士登録 (東京弁護士会)

コンビニ・フランチャイズ契約を中心にフランチャイズ契約の契約
実務、訴訟実務に従事

〒102-0083

千代田区麴町1丁目8番8号 グランドメゾン麴町406号室

遠藤法律事務所

TEL 03-5226-0319 FAX 03-5226-0419

Mail CZK13736@nifty.com